

# 日中友好新聞

## 府連通信

2008年5月号  
 日本中国友好協会大阪府連合会  
 〒530-0013  
 大阪市北区茶屋町10-6  
 阪急北ビル4階  
 TEL06-6372-8131  
 050-3413-6491  
 FAX06-6372-8132  
 郵便振替口座  
 00970-5-8978  
 E-mail:jcfa@jst8.so-net.ne.jp  
 ホームページ  
[http://www005.jp/pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/](http://www005.jp.pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/)

### 沙飛の遺児・王姉妹と交流会

#### 四役が大坂領事館を表敬訪問

4月18日に沙飛の遺児であめ戦争展」で「沙飛の王 雁さん(次女)、王 少 写真展」が特別テーマ軍さん(三女)が来阪され、府として取り組まれることなどが報告されました。

ら交流しました。なごやかな懇談のなかで人民解放軍の思い出や東京での「沙飛写真展」の様子や8月に開催される大阪の「平和のた



4月22日には大阪府連の渡辺会長、藤後副会長、片山理事長、高瀬事務局長の4名が中国大阪総領事館を表



敬訪問しました。領事館からは、莫麗麗領事が出席され、懇談のなかで、8月の「沙飛の写真展」の後援依頼や奈良での組織結成への動きなどが報告され

ました。莫領事は「今、大阪において中国との経済・文化交流はますます発展してきており、今後とも領事館と協会との交流を深めていきたいと思います」と述べられました。

### 西の貴陽から東の雷山上郎徳村へ

二十四、二十五日は貴陽市から一路東へ高速道路を走らせ、酒を振舞って迎える習慣がある貴陽と違い道の両側の山は植木が生い繁り、裾野には畑や棚田が開墾されて、菜の花、梨、桃などの果樹の花も咲いて日本の田舎の風景と重なり郷愁をさそいました。

そのあと凱里市から少し離れた苗族の村「雷山上郎徳村」に昼過ぎに到着、村の伝



お迎えで、女性と子供は正装をして一人ひとり丁寧に『杯』に酒を振舞ってくれて、男性陣も民族衣装で『竹楽器』を吹奏しながらの歓迎を受け感激しました。

村の広場では全村上げての歓迎式典が行なわれ心からの歓迎をうけました。三十分ほど伝統芸能を次々と披露して、最後に参加者全員「三十六名」が正装した女性と手をつないで輪になって子供に帰つたように踊り楽しいひと時を過ごすことが出来ました。貴州省も中国の沿岸部から見ると遅れた地域の一つとして、観光に力を入れながら開発をしているようですが、少数民族が自然と調和の中で自立するには、課題があります、開発は自分の



首を絞めかねません。少数民族として長い年月を生きてきた文化・芸術の伝統をどう守るのか、今後の課題と言えるでしょう。今の急激な中国の発展とうまく調和させ、いつまでもすばらしい伝統を存続してほしいと願わずにはおれません。(片山英徳理事長・記、渡辺武会長、藤後博己副会長、中根欣之助常任理事など三六名のツアーに参加しての投稿記事の後編です。)

### 700名の府連組織に

全国大会、府連大会までに新しい会員、準会員を増やしましょう。楽しい企画で支部活動を活性化し、新しい支部作りや支部の再建をめざしましょう。

四月から開講した中国語講座の新入生に協会への入会を訴えたところ、二名の若い女性が日中に入会してくれました。

今、六月の全国大会までに全国では500名に会員拡大にむけて奮闘中です。東北、九州から会員の拡大が報告されています。また、いくつかの支部の結成、再建も取り組まれています。

### 訂正のご案内

#### きりえ美術展

四月号でご案内しました、第三一回全大阪きりえ美術展を五月二三日(金)から二八日(水)開催します。

昨年は三十回を記念した『画集・大阪のきりえV』を出版し、会場も府立現代美術センターで開催しましたが、今回は一昨年までの「エル・おおさか」となります。

会場が狭く、作品も一人一点となり、大きさも二〇号までですが、大阪府内を中心に活動する作家・愛好家の「今」のきりえが並びます。ぜひ、ご覧の上、創作をされる方が増えることを願っています。

### 第88期中国語講座・開講中

中国人との日常会話ができることをめざしています  
 初級から上級まで、27クラス開講中です  
 (週一回・二時間・6ヶ月20回受講)  
 受講料・39,000円 二科目受講58,500円  
 入学金・15,000円、会員・学生割引があります  
 授業の見学は無料で、二科目までならOKです  
 プライベートレッスンも随時受付中です。

# 朝鮮に於ける国民精神総動員運動

題名のリーフレットの实物が手元にある。(朝鮮総督府官房)から昭和十四年八月三十日に発行されたものだ。日本では盧溝橋事変勃発から一ヶ月余り後、1937年八月十四日、閣議で「国民的思想動員」の開始を決定、九月一日には、「国民精神総動員大演説会」が日比谷公会堂で開かれた。

リーフレットは、朝鮮人民を日本と「同化」し「内鮮一体」につきすすむ呼びかけである。その内容は、「国民精神総動員朝鮮連盟」が結成され、二十一项目の目標を示したもので、

「連盟は京城に在って運動の中樞機能をなし、総督政治の一面を輔翼する外郭団体である。その使命とする處は、内地の国民精神総動員と同様我尊嚴なる国体に基き、挙国一致益々日本精神を振作昂揚し、且之を国民の日常生活に具現せんとするに在るは勿論、更に前述の如き朝鮮の特異性に鑑み、半島同胞の皇国臣民化に依る内鮮一体の強化及び諸産業の急速なる興隆進展に助力し二千三百万同胞を挙げて新東亜建設の聖業輔翼に盡くさしむるにある・・」と述べ

項目はつづけて◇皇国精神の頭場◇毎朝宮城遙拝◇神社参拝励行◇国旗の尊重、掲揚の励行◇国語生活の励行◇戦時経済政策への協力◇銃後の後援◇一日一時間以上労働増加の励行◇生産の増加並びに軍需品の供出◇機会ある毎に皇国臣民の誓詞斉誦◇機会ある毎に殉国者英靈に黙祷◇内鮮一体の完成◇防共防牒 などとつづく。(昭和十四年七月)末で全鮮で組織された(愛国班)数は三三万四千、班員数は約480万人であるが班員数は戸数をもつて数えるのでこれに含まれる家族を入れると全人口が愛国班に抱含されたことになる。

日本の政治家や反動学者の中には、「日韓併合は朝鮮からの要望だった」とか、「良い面もあった」などと臆面もなく語る者もいるが、このリーフレットを見る限りでも、彼らの言い分は真実の歴史に目をそむけた妄言に過ぎないことが判る。

満州では「満州国協和会」を、中国の華北では「新民会」を創りあげ、さらに1942年十一月には大東亜省を創設して、あらゆる面で日本とアジア諸国との一体化をすすめていった。おそろべき侵略の歴史であった。

(明日香村会議員・観光ボランティアアガイドの廣田仁吉さんからの投稿です)

## チベット問題の行方と北京オリンピック

緊急投稿 常任理事 松原弥寿夫

チベット暴動の背景や北京オリンピックの動向に、関心をお持ちではないでしょうか。

自治区とともに広大な自治区でチベット語を日常的に話し、少数民族の中でも人口が多いほうなのです。

1951年に大規模な動乱があり、その後59・89年と動乱が続き、漢民族との融和にしこりを残しています。中国指導部はチベットを今の教育水準

に戦に明け暮れていました。日本(戦国時代)や西側諸国も同様の経緯をたどり、その過程で植民地支配の時代もあり、近隣諸国を力づくで統治してきました。しかし第二次世界大戦後、世界の国々が独立を勝ち取り、中国では解放後、漢民族を中心に五十有余の少数民族を束ねて国づくりをしました。自治区も数多く抱え、今問題になっているチベット自治区は、ウイグル

(中国語に統一)に引き上げたり、近代化を進めたりしながら穏やかな融和を目指しているようですが、チベット語を公用語として認めず、仏教を排斥し、青蔵鉄道の開通などで漢民族が大量に流入しチベット人を上回りま

した。それに伴いチベット固有の文化を軽視し、観光や商売その他の大規模な開発を推し進め、チベットの自然や文化を破壊し自治権をないがしろにしている

人として初めて仏教の修行に行つたのは『河口慧海』(カワグチエカイ1866~1945)で出生地は堺市北旅籠です。寺院『清学院』の仏門に学び、仏教典の翻訳に疑問を持ち、自からチベットに学び、チベット仏教を日本に伝えたといわれています。現在南海本線の七道駅前に銅像があるだけで、堺市民にも知られていません。関心がある方は一度覗いてみてください。

オリンピックとの関係では、長野の善光寺が出發地点を返上しました。同じ仏教者であり、日本の仏教のルーツの一つとして尊敬の念を持つているとの事で、いたし方の無い決定なのか

**太極拳教室案内** 開講中  
 なんば府立体育館など  
**府連教室** 開講中  
 月曜日午後六時三〇分から  
**西支部教室** 開講中  
 北スポーツ・東梅田学習センター  
 木曜日午後六時三〇分から  
**守口支部教室** 火・水・金  
 守口第一中学校他に  
**守口東部教室**・東部公民館  
 土曜日・午後一時から  
**富田林教室** 開講中  
 市民総合体育館(剣道場)  
 水曜日午後六時四五分から  
 詳細は府連事務局まで

日本中国友好協会 **第57回大会のご案内**  
**6月7日(土)~8日(日)** 会場：愛知県内  
 代議員・評議員も含めて参加希望の方は事務局まで。  
 支部の再建と会員拡大で大会を成功させましょう。

**第54回大阪府連大会**  
**7月6日(日) pm1:30~4:30 此花会館**  
**祝賀会 pm 5:00~7:00**